



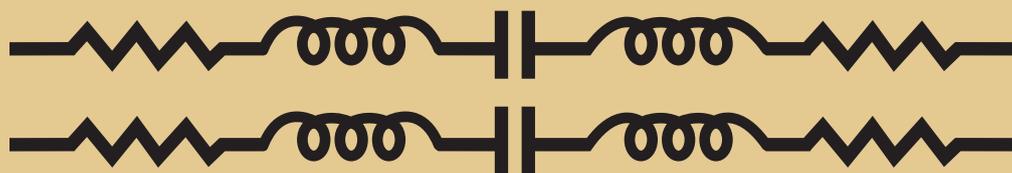
科会HP

岩手大学電気電子情報科会誌

きたかみ

第 71 号

2025 年 3 月 発行



目 次

会長挨拶	会長 柳橋 好子	1
山崎時男相談役追悼		
元電気科会会長 山崎時男さんを偲ぶ	柏葉安兵衛	2
電気電子通信コースの近況	電気電子通信コース長 西館 数芽	4
知能・メディア情報コースの近況	知能・メディア情報コース長 山中 克久	5
草刈賞		
草刈功労賞を頂いて思い出すこと	籾福 寛	6
第19回（令和5年度）草刈賞受賞者		7
盛岡支部からの寄稿		
岩手のこと、盛岡のこと、知ってます？	國保 章子	8
イッツ翔タイム！！	村田 崇	9
「株式会社ミクニ」をご存知ですか	渡邊 健一	10
電力インフラに勤める社会人として感じること	吉田 太郎	11
《支部だより》令和6年度東京支部報告	狩野 利之	12
令和6年度仙台支部報告	田中 利光	13
令和6年度盛岡支部報告	宮手 敏雄	14
令和6年度岩手大学電気電子情報科会総会・議事録		15
令和6年度岩手大学電気電子情報科会臨時総会・臨時総会議事録		16
令和5年度決算書・令和6年度予算書		17
令和6～7年度岩手大学電気電子情報科会役員名簿		18
令和6年度電気電子通信コース、知能・メディア情報コース教職員名簿		19
総会添付資料・理事会議事録		20
令和6年 年表		21
岩手大学電気電子情報科会会則		23
トピックス・編集後記		24
令和7年度総会のご案内		裏紙

ご 挨拶

会長 柳橋好子（昭和 45 年電子卒）



皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

いつも電気電子情報科会の活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

私、昭和 45 年電子工学科（電子 1 回）卒の柳橋好子と申します。

令和 6 年 6 月 15 日開催の令和 6 年度総会において図らずも第 23 代会長の任を拝命致しました。

昭和 17 年（1942 年）に創設されて 83 年になり、現在 5000 人を超える会員を持つ伝統と実績のあるこの会の会長は非常に責の重いものです。私ごときがと固辞しましたが選考委員長の熱心さに根負けしたというのが実情です。

本会は 83 年間、会誌「きたかみ」の発行、会員間の親睦・交流、知識の交換等、たゆみなく活動を続けてきました。創設者の草刈先生の意味を継いで先輩たちが培ってきた長きにわたる活動に感謝し、誇りをもって、より充実した先に進めるべく、みなさんのお力をお借りしながら頑張っていきたいと思えます。皆さまのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

工学系同窓会で女性の会長は非常に珍しいらしいのですが、大学入学時のような特異な目でみられる感じは受けません。多様性の時代といわれ、世間の意識もずいぶんと変わってきていることを実感します。

「きたかみ」71 号をお届けします。

昨年は 6 月 17 日に元会長の山崎時男氏（昭和 24 年卒 専門 8 回）がお亡くなりになりました。山崎氏は工学部電気科に奉職した若いころから科会に関わり、本部の仕事から盛岡支部長、科会会長とあらゆる場面でご尽力いただきました。そのご功績により創立 70 周年の席で草刈功労特別賞を受賞なさいました。

また、7 月 15 日に熱海宏侓先生（昭和 36 年電気卒）がお亡くなりになりました。先生も科会の庶務や会計事務に携わってくださり、科会を支えてくださいました。

お二人に感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

さて、科会では会誌発行など会の運営のために年 1000 円として 10 年に一度 1 万円の年会費の納入をお願いしております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

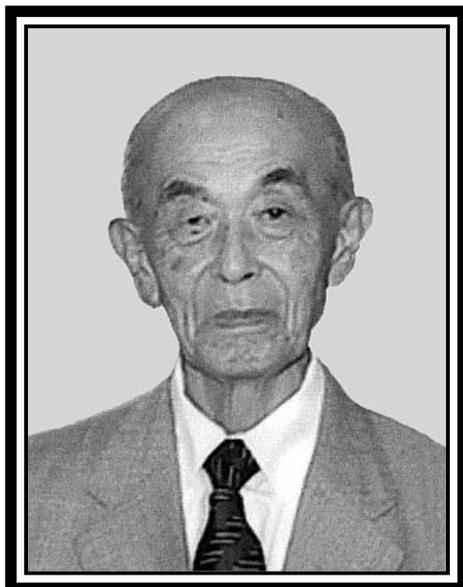
草刈賞をご存じでしょうか。草刈賞は草刈遜先生生誕 100 年を記念して、意欲的な学生生活を送った電気情報系コースの卒業生に授与するために 2004 年 1 月に設立され、基金を岩手大学に寄贈したものです。皆様のご寄付などにより基金は枯渇することなく、毎年草刈賞として、理工学部長より学生に贈られています。今回は「草刈賞基金」に草刈先生のご子息故岡本康之さまが生前に 10 万円、その後、奥様の嘉子様から 50 万円のご寄付を頂戴いたしました。本当にありがとうございます。

個人情報云々と、人とのつながりがますます希薄になっている気がします。同窓という、ともに同じ場所を共有した仲間が集わないのはもったいないと思うのです。仕事での疑問なども仲間や先輩にヒントをもらえるチャンスです。

この会誌「きたかみ」が母校や青春時代を過ごした盛岡とみな様をつなぐものとなれば幸いです。

みな様のますますのご健勝とご発展をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。

山崎時男 相談役



元電気科会会長 山崎時男さんを偲ぶ

柏 葉 安兵衛（昭和 38 年電気卒）

本会相談役、第 10 代会長山崎時男様は令和 6 年（2024 年）6 月 17 日ご逝去されました。享年 96 でした。

山崎さんは昭和 2 年 9 月 15 日に盛岡市六日町（現在は肴町）でお生まれになりました。この地は、盛岡城のお濠を兼ねた中津川の近くで、山崎さんは川岸に建つ杜陵尋常小学校に入学、その後、盛岡高等小学校（現在の下ノ橋中学校）に進学しました。この学校は、嘗て金田一京助や石川啄木も盛岡中学校（現在の盛岡第一高等学校）入学を目指して学んだ学校です。盛岡中学校を昭和 20 年 3 月に卒業後、神奈川県にあった陸軍士官学校に入学しましたが、太平洋戦争は 8 月 15 日に終戦になりました。そのため 8 月 30 日に盛岡のご自宅に帰られたそうです。戦争による疲弊と敗戦の混乱の中、山崎さんは昭和 21 年 5 月、盛岡工業専門学校（盛岡工専、後の岩手大学工学部、現在の理工学部）電気科

に入学します。しかし、終戦直後の 9 月半ばから、上田の盛岡工専はアメリカ進駐軍の駐屯地として接收され、工専は市内下厨川字長畑（現在の青山町）の元陸軍兵舎に移転していたので、その兵舎に入学したのです。この建物は傷みがひどくまたノミ、南京虫などの大発生、さらに窓も壊れているなど、過酷な環境だったようです。山崎さんは、肴町のご自宅からおよそ 5 km の道のりを歩いて通学されたそうです。学校の環境が劣悪なことに加え、当時はあらゆる物資が不足し、中でも食料不足は深刻で、学校の夏休みは長く、また臨時の休校も度々あったようです。翌 22 年 2 月の米軍移駐によって上田の校舎が返還されることになり、3 月末に移転が終了しました。この作業も大変だったそうです。

山崎さんは昭和 24 年（1949 年）3 月に盛岡工専電気科八回生として卒業し、岩手県立軽米高校の教員になり、昭和 26 年 4 月からは岩手

大学工学部共通科に勤務されました。昭和27年10月には電気工学科に移り、実験や学生指導に当たられました。すでに第一回卒業生によって昭和17年1月1日に創設されていた電気科の同窓会“盛岡高工電気科会”(後に“盛岡工専電気科会”、“岩手大学電気科会”、さらにその後“岩手大学電気電子情報科会”に改称)の仕事も熱心に取り組みました。

戦後10年も過ぎて、やっと世の中が落ちつき始めた昭和34年、山崎さんは家庭電化製品発展の前途を見抜き、大学を退職して、豊富な電気電子工学の知識をもとに「山崎電気商会」を設立し、家電製品の販売・普及に力を注がれました。私は34年の入学ですので、山崎さんとはすれ違いでした。

昭和43年に私は岩手大学に採用され、新設間もない工学部電子工学科に配属になりました。学生実験や卒論研究の指導の傍ら、一戸先生のお手伝いとして“電気科会”の仕事もしていましたが、それが縁で山崎さんに親しくしていただきました。そのころ山崎さんの電気店は大変繁盛していて、電気科会では二階の会議室をよくお借りして会議や“きたかみ”の編集などに使わせていただきました。奥様にも大変お世話になったことを思い出します。

私は60年近くにわたって山崎さんにお世話になりましたが、山崎さんは“盛岡と岩手大学”に非常に強い思い入れをお持ちであることを強く感じております。お家から少し歩くと中津川、そこに架かる小さい橋“毘沙門橋”(他に擬宝珠のついた“上ノ橋”、“中ノ橋”、“下ノ橋”がある)を渡ると、そこは岩手公園(後に盛岡城跡公園と改称)という恵まれた地に生まれ、お育ちになったことによるのかもしれませんが、とにかく盛岡と岩手大学について非常に強い思い入れを感じました。お孫さんが岩手大学の人文社会科学部に入学された時も大変お喜びだったことを思い出します。山崎さんをご自分の庭のような盛岡城跡公園を毎日散歩し、岩手山を眺めることを日課として、3000回達成を目標にしていると仰っていましたが、ついにこの目標を達成したということでした。くまなく公園を散歩して、誰よりも公園内の様子をご存じになっていたかと思えます。

10年以上も前になりますか、山崎さんの呼び掛けで当時の一祐会会長、副会長の方々が公園の“もりおか歴史文化館”の近くに集まり、山崎さんから“盛岡高等工業学校が創設されて第

一回生が入学し、1年8ヶ月の間勉強した仮校舎の盛岡夜間中学校の場所はここで、校門の位置はここだと確認できた”という説明を受けました。山崎さんは“工学部発祥のこの地に記念碑を立て、後世に伝えるべきでないか”という事を提案されました。その後一祐会会長は色々奔走したようですが、盛岡市の公園課からは、“造るなら公園のこの場所に相応しい立派なものを”という要求があつて相当の費用が必要なことや、何よりも、この場所で勉強した第一回生の反応が芳しくなかったこと、そして大学当局は、盛岡高等工業学校が設置された場所は“当初から上田”であるという立場だ、とのことから、“記念碑の設置は諦めた”というものでした。山崎さんのご提案が実現されなかったことは非常に残念な限りです。

このように、山崎さんは工学部在職中からお亡くなりになるまで同窓会活動に非常に熱心に取り組み、幹事、理事、第2代盛岡支部長、きたかみ編集委員、第10代会長などを歴任し、「岩手大学電気電子情報科会」の発展に多大な貢献をなさいました。また大学をご退職後も非常勤講師をお務めになり、大学と同窓会との連携発展にご尽力下さいました。

このようなご功績に対し、岩手大学電気電子情報科会では、創立70周年を記念して制定した「草刈功労特別賞」を贈呈し、感謝の意を表しております。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



山崎電気商会で行われた“きたかみ20号”の編集委員会終了後、岩手公園の盛岡高等工業学校仮校舎跡地にて撮影(昭和46年)。前列左より、藤田清吉さん(専9)、岩田純蔵さん(大1)、山崎時男さん(専8)、宮手敏雄さん(大17)、後列左より、佐々木喜八郎さん(大1)、柏葉安兵衛(大11)。

電気電子通信コースの近況

システム創成工学科

電気電子通信コース長 西 館 数 芽

電気電子情報科会の皆様におかれましては益々ご清栄のことと拝察申し上げます。平素よりコースの運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。今年度は、教授7名、准教授5名、助教5名、技術部職員5名で教育および研究活動を行っております。ビッグニュースといたしましては、本コースの長田洋教授が理工学部長に、また小林宏一郎教授が副学長に就任されました。学部生と大学院生の就職も順調です。学部生の東京方面への工場見学も実施されました。大学院への進学もおよそ6割を維持しております。今年度になり、コロナ下における様々な行動の制限も撤廃され、学内の各種行事や授業なども、ほぼ定常状態に落ち着いた感があります。令和7年度より当コースは「電気電子・情報通信コース」と衣替えをします。情報というキーワードが付け加わったのは、昨今のITブームを教育と研究に取り込もうという目論見です。

私が岩手大学の電気電子に着任したのはもう31年前のことで、池田先生、馬場先生、柏葉先生の研究室でした。時間の経つことのなんと早いことでしょうか、今ではコースの教職員として、私が一番の古株となってしまいました。研究室は「電子基礎」が母体となっていて、半導体やイオン結晶などの固体物理学の色合いの濃い研究室でした。また当時、工学部のキャンパスには狸の親子がいて良く目撃したものです。いまでは建物がどんどん建って、狸の隠れるところも消滅してしまいました。それでもたまにカモシカがキャンパスを徘徊しています。

コロナが日本中に広まりはじめたころ、東京に就職した私の研究室出身の彼から1通のメールをもらいました。近況を伝えるメッセージと共に、そこには当然のように彼の作ったPythonで書かれた感染症セルオートマトンシミュレータへのGitHubリンクが貼られていました。その時まで私はPythonもGitHubも利用

したことが無かったのですが、彼の頭には私なら当然使っているだろうという思いがあったのでしょう。私はこれを恥じて、慌ててPythonとGitHubを使い始めました。今ではプログラミング実習やコンピュータ工学の授業で大いに活用しております。また一昨年、東京の総会にお呼びいただきましたが、その時に私の研究室出身の彼女がいらして大変驚きました。MetaQuest（おそらく）を使っていて、それをビジネスに応用しているとのことをお話を聞きました。大学で学んだ知識はどうしても古くなっていきます。そんななかでも意欲的に新しい事に取り組む彼女の姿に感銘を受けました。また別の卒業生の彼からプログラミングスタイルに関する献本を一冊いただいたのもその頃です。その本は岩手大学生協をはじめ、学会が開催された国内の大学生協にも何冊も積んであって大変驚きました。そういえば彼には献本のお礼もしてなかったと、今、気がつきました。まあ許してくれるでしょう。

さて電気電子情報というのは世の中の最先端科学の成果を要求する分野です。ユーザーの立場からは便利に使えればそれで済みますが、技術を駆使する側にとってはその中身を知ることが重要になってきます。そのため、AIや数理データサイエンス、インターネットの安全を守る暗号技術、ビットコイン、量子コンピューティングの原理、量子もつれなど、新しい内容を学生に教えるべく、日々勉強に励んでいます。もちろん、これには先の教え子達からフィードバックをかけていただいたこともエネルギー源になっています。教えるというのは自分にとってのつくづく効率の良い勉強法なのだ実感しております。

最後になりましたが会員の皆様方におかれましては今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしく申し上げます。

知能・メディア情報コースの近況

システム創成工学科

知能・メディア情報コース長 山中 克久

電気電子情報科会会員の皆様におかれまして、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。前回の改組で知能・メディア情報コースとなってから早いもので9年が過ぎました。コロナの影響が下火となり、やっと落ち着いて過ごせるかと思っていたのですが、R7年度からの改組に向けて大忙しの年となりました。今回の改組では、知能・メディア情報コースは大きな影響を受けます。知能・メディア情報コースは来年度から「情報系コース」に生まれ変わります。この情報系コースは「知能情報コース」と「クリエイティブ情報コース」から構成されます。この2つのコースは情報系コースの名のもとで一体となって運営され、情報系の教育・研究を担っていきます。さらに、この改組にともない、新しくデザイン系の教員に加わっていただくことで、今までよりも広範囲にわたった情報系の教育・研究を行います。

今年度のコースの状況をご報告したいと思います。本年は67名の新生を迎えました。入試倍率は、少子化の影響が深刻化する中、AIブームを反映してか何とか好調を維持しています。現在の本コースの構成人数は16名で、内訳は、教授6人、准教授6人、助教4人の計16人です。藤岡豊太先生が准教授に昇進され、今年度の研究室配属では、藤岡研究室の第1期生が誕生いたしました。今後は大学の教員採用方針もあり、課題だった組織の新陳代謝が引き続き進んでいくものと思われまます。

研究に関するトピックとしては、本年、下記の受賞がありました。

[1] 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2024) 学生プレゼンテーション賞 (3件)

◆佐藤将太, 佐々木裕多, 白石優旗, 張建偉
共感的な働きかけを意図したエモーショナル

サポート会話における発話生成

◆谷 聡馬, 張建偉, 佐々木裕多
ソーシャルコンテキストを利用したアンサンブル学習によるフェイクニュースの早期検出

◆吉田 倬, 張建偉
自然言語による説明を生成する faithful な偽情報検出モデルの試作

[2] NICOGRAPH 2024 最優秀論文賞

◆Maral Enkhtugs, Mengbo You, Maki Traora, Hiromi Hirakawa, Satoru Nakazono, Kouichi Konno
A Study on Semi-automatic Registration of 3D Point Clouds Obtained from Archaeological Trench Investigations

[3] NICOGRAPH 2024 優秀論文賞

◆川島大心, 游梦博, 木下 勉, 今野晃市
土器片の空間配置推定手法に基づく土器片組立システムの検討

[4] 国際会議 The 23rd International Conference on Cyberworlds (Cyberworlds2024) Best Poster Award (優秀発表賞)

◆Ganbold Ganchimeg, 游梦博, 今野晃市, Bataa Otgonbayar
Restoration of Taikhar Rock Painting with Color Image Processing

来年度以降、知能・メディア情報コースは、情報系コース（知能情報コース、クリエイティブ情報コース）に衣替えし、教職員一同、今まで以上に努力してゆく所存ですので、会員の皆様には益々のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「草刈功労賞を頂いて思い出すこと」

簾 福 寛（昭和 38 年電気卒）



昭和 42 年(1967 年)頃、草刈先生が仙台の病院に入院されたと聞いた。仙台には時々行くことがあったのでお見舞いに伺ったが、先生はいつもお

休みになっていてあまりお話し出来なかった。ある時、電気工学科事務室の富樫さんと先生の秘書の米沢さんが楽しそうに話していた。それは、先生が小岩井農場の“瓶バター”が気に入っていて、また買ってきてくれというものだった。そこで私もお見舞いには小岩井の瓶バターを持っていくことを常としていた。しかし先生は皆の願いも虚しく、翌年春のご定年を待たずに昭和 43 年の 7 月にお亡くなりになった。教職員、卒業生、在校生の悲しみは、とても大きかった。

私が学生時代、先生が住まわれていた工学部長官舎は応用化学科南棟（工学部最初の鉄筋コンクリート建築）の西南側にあったが、その後、官舎の隣には電子計算機室（後の電子顕微鏡室）が建ち、さらに暫らくして官舎はなくなって、現在は新しい研究施設やその駐車場ができ、昔の面影はない。

昭和 30 年代に日本は高度経済成長期に入り、工学部には新しい学科が次々に増設され、4 学科、定員 120 名で出発した工学部は 10 学科になり、更に臨時の定員増もあって 460 名という大きな学部になっていった。前身の盛岡高等工

業学校当時に建築された木造校舎も次々にコンクリート建築に建て替わり、同袍寮も農学部のほうへ移転して木造建物は消え去った。草刈先生はこの時期、工学部長を二度もお務めになり、学科増そして更に大学院設置に奔走されて実現されたことは、どんなにか大変なお仕事であつたらうと、つくづく思う。

卒業後は幸い岩手大学に採用された。最初は電力工学講座に所属し、間もなく電力応用工学講座に移って、志田純一先生の下で磁気パルスカウンターの勉強をした。その後、増設された電子工学科の学年進行や大学院の設置などの関係で電子材料工学講座に移り、一戸英敏先生の下で磁性材料の研究を行った。学位論文は磁性材料に関するものである。

卒業以来、電気科会（現在の電気電子情報科会）の様々な仕事を手伝ってきたが、平成 26 年（2014 年）6 月から会長を仰せつかり、会員皆様のご協力を得ながら 4 年間務めることが出来た。この間に、電気電子情報科会創立 75 周年記念式典が開催され、その席で功労のあった先輩方に草刈功労賞を贈呈したが、今度は頂く立場になった。誠に光栄なことであり、皆様に感謝いたします。

最後になりましたが、電気電子情報科会の益々のご発展をお祈りいたします。

第19回(令和5年度)草刈賞受賞者

草刈賞を受賞して

草刈賞を受賞してから早くも1年が経とうとしています。伝統ある草刈賞をいただけたこと、大変光栄に思います。

私は学部時代、学業に励む傍ら、管弦楽団とくらむぼん Jazz Orchestra の2つのサークルに加入し音楽活動に打ち込みました。運営年度には前者にて学生指揮、後者にてコンサートマスターといった、音楽系サークル活動において根幹を担う最重要な役職に就き、精力的に活動を行ってきました。特に2年次では岩手に根差す電気会社のローカル TVCM の作編曲・監督、3年次では福祉施設でのボランティア演奏、4年次では支援小中学校での訪問演奏等を行い、地域との音楽を通じた長期のコミュニケーションに重点を置いた活動を行いました。

私は現在、岩手大学大学院に進学し、学部4年次からお世話になっている本間尚樹教授、村田健太郎助教の下で、大規模アレーアンテナに

電気電子通信コース 小澤 勇人

よるインテリジェント電磁波伝搬制御面とそのアプリケーションに関する研究に没頭しています。研究を進める上で困難に直面することが多々ありますが、数多の場面でサークル運営で培った課題解決力と計画性を最大限活用でき、研究に対し大変やりがいを感じております。

最後に、これまで支えてくださった家族、先生方、周囲の皆様にお借りして感謝申し上げます。今後の生活も充実したものになるよう日々精進してまいります。



草刈賞を受賞して

電気電子通信コース VOVAN UT

私が草刈賞を受賞してから、早いもので1年が経ちました。この伝統ある草刈賞をいただき、大変光栄に思っております。

私は2018年4月に日本に来て、日本語学校で2年間学び、その後2020年4月に岩手大学に進学しました。大学を卒業するまでの間、毎朝4時から新聞配達をし、夜は週に2~3回、コンビニでアルバイトをしていました。勉強とアルバイトを両立させるのは非常に大変でした。外国人として日本語ができないことの苦勞を深く実感しました。

私は岩手大学で「シールド球形ベクトルポテンシャルコイルの内部電界分布」の卒業研究に取り組みました。さらに、外国人・ベトナム人の支援活動も入学以来ずっと継続してやってきました。具体的には、ベトナム人の方々が日本で生活する際に必要な各種手続きなど、特に市役所での書類作成に関するサポートを行いまし

た。また、毎年岩手県内に住むベトナム人が集まり、交流するイベントを開催し、ベトナムの皆さんが日本での生活により良く適応できるようサポートしてきました。

私は2024年から株式会社大昌電子に勤務しています。分からないことも多いですが、もっと頑張りたいと思っています。そして、どこで働こうとも、どんな環境であろうとも、外国人の方々を支援し続けようとして心に決めています。また、日本と外国の文化交流を深めるため、今後も日本人と外国人が互いに理解し合い、良い関係を築けるようなイベントや交流の場を企画していきたいと考えています。

最後に、これまで私を支えてくださった家族、先生方、友人たち、そしてすべてのサポートしてくださった方々に、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

岩手のこと、盛岡のこと、知ってます？

國保章子（昭和54年電子卒）



みなさんは小岩井農場のこと、知ってます？

☆現役の重要文化財で暮らしている牛って、小岩井農場だけ！

☆小岩井農場のバイオマス発電は酪農とエサの生産の好循環で黒字！

☆天然冷蔵庫は小岩井農場で一番人気の重要文化財！

盛岡管内の高校生の探究活動と一緒に企業を見せていただく中で、色々な地元企業の魅力を沢山知りました。

私は今、高校生に岩手のこと、盛岡のことを知ってもらう仕事をしています。盛岡広域振興局の”県内就業・キャリア教育コーディネーター”という職です。若者が県外に就職しても、戻りたくなるような岩手、盛岡になるよう、岩手の魅力、盛岡の魅力を一人でも多くの若者に知ってもらう仕事です。

高校では2022年度から新しい指導要領により「総合的な探究の時間」が導入されました。世界情勢の変化やSociety5.0など激しい環境変化でも、子供達が自分らしい在り方、生き方を柔軟に選択、対応できる力を身につけ、未来社会を切り拓いて行けるようにとの趣旨です。身近から主体的に課題や自分のテーマを見つけ、情報を収集、分析し、他者と交流、協力して自分の考えをまとめ、発信するという、目に見えない学力、能力を養うものです。

大学でも「キャリアを考える」、「人間と職業」、「キャリアデザイン」など、キャリア教育に関する授業があり、県内で働く社会人との交流を通して地元企業の魅力を発見したり、職業について考え職業観を醸成する場となっています。

私自身も知らなかったことばかりで、高校

生と一緒に、あちらの企業、こちらの企業に行っ
て感心することばかり、あちらの大学、こちらの
大学で楽しくて素晴らしい講義を聴講して目
からうろこの日々です。

管内の高校を回って探究活動やキャリア教育の希望を伺い、そのニーズに沿った形で企業や大学とお繋ぎしています。例えば、母校の高校1年生全員の工場見学を実現。この時には、定年まで勤務した企業にも行き、私が考案したマイスター制度が継承され若手技術者達の育成が順調に進んでいることも知ることができ安堵しました。また先日は岩手大学のキャリア教育講義を高校生が聴講する事業で、3名の岩大OGが仕事愛、岩手愛を真っ直ぐに熱く語ってくださって、頼もしい後輩の姿に涙が溢れました。企業や学校の後輩の嬉しい姿にも触れることもでき、とても遣り甲斐の大きな仕事です。

この仕事で充実を感じる度に、これまでを振り返って、岩手大学の恩師を思い出しております。恩師の馬場守先生と同じ電機メーカーの総合研究所に就職したお陰で、探究活動で高校教師から企業の研究開発に関するリクエストに対し現実的なお話をするのができ、経験が役立っているなあと思います。そして夫が急逝して盛岡に帰ることになった時、恩師の故池田俊夫先生が奔走して繋いでくださったお陰で、雫石の時計メーカーに再就職でき、海外拠点も含めた品質管理や人材育成、職場活性化、新製品開発等々、思う存分に取り組むことができ、その企業での経験を生かして今の仕事ができているのだなあと思います。

馬場先生、池田先生はじめ岩手大学でお世話になった先生方に、感謝の気持ちで一杯です。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。これからも岩手の若者の未来に向けて精一杯頑張りたいと思います。

イツツ翔タイム！！

村 田 崇（平成2年電気卒）



奥州市出身の大谷翔平選手が、大リーグ挑戦7年目で初めてワールドチャンピオンの栄冠を手にしました。大谷選手は今期ドジャースに移籍し、右肘手術のリハビリのため投打二刀流を回避して打者に専念。その結果、大リーグ史上初の50本塁打・50

盗塁達成や本塁打王、打点王の2冠に輝くなど数々の記録を打ち立て、ワールドチャンピオン、MVPにも選出されました。「最高の1年」と語る大谷選手の活躍を伝えた岩手日報の号外を紹介します。

【50-50 達成】

9月に入り、前人未踏の50本塁打・50盗塁達成への期待が高まり、号外発行を検討。9月20日(同)のマリンズ戦。現地特別取材班のカメラが決定的瞬間を捉えました。

この日は早朝から輪転機点検の予定があったため印刷部員を確保しており午前9時に号外印刷を開始しました。2ページのため紙揃えが悪いなど多少トラブルが発生しましたが9時50分に刷了。発行部数は3万4000部で、盛岡、花巻、北上、奥州で配布しました。またバックナンバーとして9月21日付朝刊とのセット販売も実施。この号外は野球殿堂博物館(東京都文京区、東京ドームに隣接)で展示されています。

【ドジャース優勝】

ワールドシリーズ第5戦は3時間40分を越える熱戦となりました。第2戦で肩を傷めた大谷選手は8回表に打撃妨害で出塁、逆転勝利につなげました。

号外は2ページ。現地特別取材班からの写真原稿を待って午後1時28分に印刷開始、2時13分に刷了。発行部数は3万9000部、県内で配布し11月1日付朝刊とのセット販売も実施しました。

【MVP 受賞】

11月22日(同)ナショナル・リーグの最優秀選手(MVP)に選出されました。エンゼルス時代のアメリカン・リーグで獲得した2021、23年に続く満票での受賞。

号外は4万3600部発行され、午前11時30分には県内4市、午後2時からは東京・有楽町駅前で配布しました。

自社HP等で号外配布を事前告知したためか、盛岡市の肴町商店街では配られるのを待っていた人も多く、用意された500部は10分ほどでなくなりました。

東京・有楽町周辺でも祝福の声が上がり、号外1,000部は10分でなくなりました。

号外はバックナンバーとして11月23日付朝刊とセットで数量限定販売しています。

※番外

従来は号外を県内の主要コンビニやホテルに配置してきましたが、フリーマーケットに出品され高値で取引されるケースが増えてきたため、今年度は取り止めました。



「株式会社ミクニ」をご存知ですか

渡 邊 健 一（平成元年電気卒）



みなさんは株式会社ミクニという会社をご存知でしたでしょうか。ほとんどの方がご存知ないかと思いますが、一般の方でご存知の方がいらっしゃるとすれば、まずは趣味でオートバイにお乗りの方。

業界の方ですとオートバイ業界の方、自動車業界の方、ガス機器業界の方でしょうか。

普段みなさんがミクニ製品を目にするとしたら、バーナーの横に一部分しか見えませんが家庭用ガスコンロに装着されているガス立ち消え安全装置が挙げられます。

このガス立ち消え安全装置は吹きこぼれ等でバーナーの火が消えた、または着火しない場合にガスを止める装置です。みなさんが目しているのは、バーナーの横に突き出しているシャープペンシルの先のような形状の炎が当たると起電するサーモカップルという部品の銀色の先端部分で、電磁石とガス通路開閉用バルブが一体となったマグネットユニットとセットでガス立ち消え安全装置は構成されています。ご参考までこの装置の動作を説明しますと、着火時は、コックスイッチを押す→点火用イグナイター ON & マグネットユニットバルブ押す→ガス通路開→バーナー着火→サーモカップル起電→コンロコントローラ着火確認→コンロコントローラからマグネットユニット電磁石に電流供給→バルブが電磁石に吸着→コックスイッチ押しやめ→ガス通路開継続→バーナー着火継続のように動作し、吹きこぼれ等で火が消えた場合には、サーモカップル起電停止→コントローラから電磁石への電流オフ→電磁石からバルブ脱着→ガス通路閉 のように動作します。このガス立ち消え安全装置でミクニはトップシェアを誇っております。

ご参考までガス機器関連製品の一部につきま

してご紹介致しましたが、実はミクニの売り上げ約1000億円の約8割はオートバイ、自動車関連製品でして、古くからオートバイ、自動車メーカーが主なお客様です。

製品の一例をご紹介しますと、オートバイのエンジンを横からご覧頂きますと、エンジンの横、ガソリタンクの下辺りに銀色のキャブレターまたはスロットルボデーと呼ばれるエンジンには欠かせない部品が確認できますが、多くのオートバイでその部品の側面には“MIKUNI”のロゴが見てとれると思います。

自動車の例ですと、私が現在乗っているスズキの軽自動車にもミクニのスロットルボデーが装着されておりまして、ボンネットを開けてエンジンを上から見ますと、エンジン上部のちょっと奥の方にありますスロットルボデーの上側面にも「MIKUNI」のロゴが確認できます。

他にも様々な製品がございます。是非この機会にミクニのホームページをご覧ください。ミクニは、今後、CO₂削減のためにますます進むオートバイ、自動車の電制化、電動化に合わせて、製品のラインナップをさらに拡充して参ります。

ミクニはおかげさまで一昨年2023年10月1日に創業100周年を迎えました。

その間、盛岡事業所が、岩大があります盛岡のお隣の滝沢市で約50年前から操業していたこともありまして、多くの岩大卒業生が入社し、現在64名の岩大OB/OGが在籍しておりますが、そのうち電気・電子・情報工学科の卒業生は残念ながら7名と少ない状況です。繰り返しになりますがオートバイ、自動車の電制化、電動化が進み、さらには、今後、社会ではAI、ロボット化がますます進んでいくことから、今まで以上に電気・電子・情報系の人材が望まれます。我々も、よりミクニに魅力を感じて頂けるようアピールして参ります。

電力インフラに勤める社会人として感じること

吉田 太郎（令和3年電通修了）



私は2021年に岩手大学大学院理工学専攻を修了いたしました。現在、電力インフラの会社に勤めています。社会人となって4年目となり、ようやく仕事に慣れてきた今日この頃です。

今回は電力インフラ業界に勤める一員として、昨今のエネルギー基本計画が電力インフラ業界へ及ぼしている影響や社会人4年目で感じる社会人として必要なことについて述べようと思います。

1. 昨今のエネルギー事情について

2024年12月、日本政府がエネルギー基本計画（原案）を公表いたしました。現在、日本の電源は、火力（約7割）、が再生可能エネルギー（約2割）、原子力（約1割）で構成されています。この比率を2040年までに、再生可能エネルギー4～5割、原子力2割に調整し、再生可能エネルギー中心の電源バランスとなる方針となるようです。この背景には、ロシアによるウクライナ侵略や中東情勢の緊迫化によるエネルギーコストの上昇、DXやGXの進展に伴う電力需要増加の見込みなどが挙げられ、わが国では、エネルギーの構造転換が求められています。このような中、電力インフラ業界に勤務することは、エネルギー構造の転換を、身をもって体感できる貴重な機会だと思っております。

2. 電力業界への影響

さて、私の仕事の中で昨今のエネルギー計画の影響を受けている仕事は何でしょうか。一つ上げるとすれば、再生可能エネルギー電源と現

電気設備をつなげる仕事です。新たなエネルギーミックスの比率を実現するためには、再生可能エネルギー電源の開発が必要ですが、それだけでは電気を届けることができません。現電気設備へ連系するために、鉄塔や電柱を増設したり、変電所を增強、リプレースしたりなど、電力インフラ業界は再生可能エネルギー導入に向け、準備を進めております。今回のエネルギー基本計画で指標となっている2040年の電力事情はどうなっているのか生きている間に体感できるのは、個人的に誇らしく、大人ながらワクワクしております。

3. 社会人として必要なこと

私が個人的に思う社会人にとって必要なことは、人とのつながりを大事にすることです。至極あたりまえのことかもしれませんが、社会人でとても大切なことであるとまだ4年目ですが、再認識しております。仕事の上司や後輩、取引先の方々、電気を届けるお客様など、多くの方々とのつながりが増えました。たくさんコミュニケーションをとることで、新たな知見や発見が増え、ひとりでは決してできないことが実現できるようになったと実感しております。たくさんの方々を支えられながら、生きていると日々実感する限りです。

4. 最後に

最後になりますが、電気を届ける一員として、これからも人とのつながりを大切に仕事に打ち込んでいきたいと思っております。会員の皆様におかれましても、より一層のご発展をお祈りしております。



支部だより



令和6年度東京支部報告

東京支部長

狩野利之（昭和61年電子卒）

1. 2024年度東京支部大会報告

令和6年（2024年）度の東京支部大会は、通常の時期での開催となりました。コロナ禍の影響、科会80周年を6月に祝うための秋の開催などによるものです。コロナ禍も終息し、80周年の記念式典が昨年6月に盛大に開催され、今年は通常どおり6月22日にホームグラウンドである東京新宿・日本料理 三平にて開催することができました。

今回ご出席いただいた方々は、会場参加39名、リモート参加が4名の計43名と、まだコロナ前には戻りませんが、新卒の2名の方に参加いただくなど、少しずつですが嬉しい変化を感じる会でありました。誠にありがとうございます。

ご来賓には、柳橋好子新会長、大学からは、今年の5月まで一祐会会長をされ現在は顧問で科会相談役の柏葉安兵衛先生、講演の講師として大坊真洋先生にご出席いただきました。先生のご講演は、「ベクトルポテンシャルとその応用」と題して興味深いお話をいただきました。また、他科会の東京支部からは、建設系より米谷山賢様（現会長、H5 土木）、金属物性系より小山田建四郎様（会計幹事、S45 金属）、また盛岡市東京事務所より荒木関方人様（副所長、H8 応化）にご出席いただきました。

会は、柴田隆昭様（S37 電気）の乾杯で始まり、多くの方にご登壇いただき、近況や最近の関心事など、ユーモアに富んだお話を交えながら、年代を超え交流することができました。

終盤では、寺井正行相談役（S41 電気）のリードで恒例の歌い継ぐ歌であります。三曲部OBの内山和彦様（H2 電子）の尺八の味わい深い伴奏で学生歌、同袍寮歌、逍遙歌を大合唱し、澤藤隆一相談役の中締めでお開きとなりました。



2. 2025年度の東京支部大会

2025年度は一祐会総会が東京で行われる予定です。盛岡以外では2012年の札幌開催以来、東京での開催は1999年以来となります。各科会の東京支部は、一祐会の東京支部も兼ねているため、2025年度の当科会東京支部大会は、一祐会東京総会と連携して5月17日（土）に開催予定です。一祐会の一員として、開催に向けてしっかり貢献していきたいと存じます。ご理解、ご協力の程、よろしく願い申し上げます。



一祐会 岩手大学電気電子情報科会東京支部大会 2024（令和6年）6月22日 於 新宿・日本料理 三平

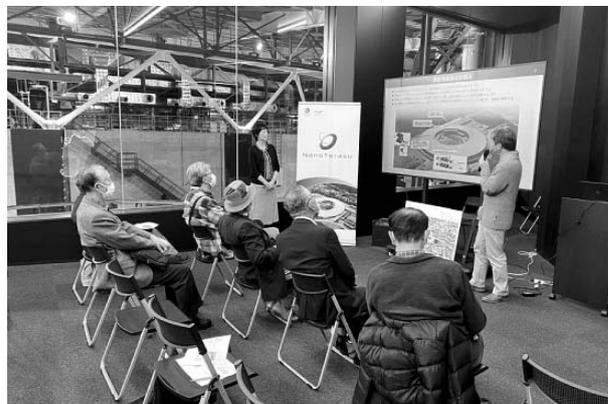
令和6年度仙台支部報告

仙台支部長

田中利光（昭和53年電気卒）

1. 仙台支部この一年

- 令和6年3月：科会新正会員歓迎会（於岩手大学工学部食堂）に出席
- 令和6年4月：支部総会計画に関する役員会開催
- 令和6年6月：支部総会、講演会、交流の集い（含長寿者を祝う会）開催
- 令和6年7月：支部活動活性化に関する役員会開催
- 令和6年11月：支部活動活性化イベントの一環として、ナノテラス施設見学会を開催



ナノテラスについての説明中

2. ナノテラス施設見学会

当該施設の見学は基本的に平日のみとなっているため、残念ながら参加者は7名でした。

通称ナノテラスは、正式名称を「3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu」といい、東北大学青葉山新キャンパス内に建設された世界最高水準の分析機能を持つ次世代放射光施設です。「ナノまで見える巨大な顕微鏡」と言われています。ナノテラスは、基礎研究から産業分野まで幅広い分野での次のような活用が期待されています。

- 自動車・タイヤ・産業用機械：新素材の開発や製品の性能向上
- 電子機器・電子部品：より高性能なデバイスの開発
- 化学・非金属・金属：新しい触媒や材料の開発
- エネルギー：太陽電池や蓄電池の高効率化製薬・化粧品・ヘルスケア：新薬の開発や病気の診断技術の向上
- 農業・食品：食品の安全性向上や新しい農業技術の開発

設備を間近で見ることができませんでしたが、非常に興味深い話がいろいろ聞けました。今後もこのような機会を作っていきたいと思えます。



ナノテラス施設見学会参加者

3. 令和7年（2025年）の活動計画

- 2月：役員会及び新年会
- 4月：役員会
- 6月：令和7年度支部総会、講演会、交流の集い

4. 宮城県内在住の卒業生の皆様へ

会誌「きたかみ」は配布されるけれども科会仙台支部からのメールは受け取ったことはないという方、ぜひとも氏名、卒業年次・学科、メールアドレスの情報を添えて以下へ連絡下さい。支部総会やイベントなどの開催案内等を連絡いたします。

- 連絡先（仙台支部代表メールアドレス）
iwuecsb@gmail.com

令和6年度盛岡支部報告

盛岡支部長

宮手敏雄（昭和44年電気卒）

1. 岩手県内の近況

昨秋よりやや寒いようですが、秋になっても三陸沖と日本海北部の海水温が下がらず、秋鮭漁は壊滅的で店頭の新巻鮭は北海道産でした。上田「高松ノ池」の結氷は半分ほどで、白鳥が優雅に泳いでいました。盛岡市の中の橋通りや紺屋町界限では、複数の15階前後の高層マンション工事が進み、歩道から見上げる青空は細長くなりました。この地区は赤煉瓦の銀行本店跡や、近くには重厚な石造りで現役の信金本店と、中の橋を渡ると昭和2年に完成した県公会堂です。

紺屋町界限には木造で火の見櫓のある消防団屯所、間口が広いレトロ満載の雑貨屋さん。さらに進むと造り酒屋がありました。今は高層マンション建設中です。一方、都市景観保護の動きも出てきました。

1月23日、ロサンゼルスからビッグニュースが飛び込みました。奥州市出身の大谷翔平が大活躍中のドジャースが、陸前高田市出身の佐々木朗希の入団を発表しました。盛岡市出身の菊池雄星は今シーズンからエンジェルスです。県出身大リーガー3選手がロサンゼルス近郊に集まります。大リーグ中継で在宅が増えそう！

2. 令和5・6年度盛岡支部総会開催

令和5年の科会本部総会は仙台開催で、支部総会は令和6年6月15日に盛岡で22人が出席して開催、令和4年度事業報告・決算と、令和5年度事業計画など全議題が承認されました。

3. 企業見学会再開

新型コロナウイルス感染で令和2年から休止していましたが、令和6年11月3日に再開しました。



企業訪問

訪問した企業は(株)ミクニ 盛岡事業所・滝沢工場で、昭和47年に操業開始、主な製品は組込み制御装置です。自動車や家電製品・暖房器具・ガスレンジ、小型発電機などの完成品には、部品を組み上げた最終組み立てメーカーのロゴマークしか見えません。完成品の奥には「ミクニ」のロゴが隠れてるかも？支部会員8人が参加しました。

詳しい企業紹介は滝沢工場開発本部の渡邊健一様（H1電気）の寄稿で「きたかみ」本号の10ページです。

4. 支部主催新年会開催

令和7年1月25日午後1時から、盛岡市菜園のホテルニューカーリーナで開かれた科会理事会に引き続き、午後3時30分から支部主催新年会を開催しました。参加は支部会員と東京と仙台の支部長の計16人です。

和服姿の柳橋会長挨拶に続き、3期6年会長を務めた久保田賢二相談役に、感謝の花束を贈りました。乾杯の音頭は恒例通り参加最高齢の柏葉相談役です。

全員スピーチは村田副会長の司会で、貴重なお話でした。家に閉じ籠もらず大股速歩で1時間！写真など趣味サークルは元気の源！中締めも恒例で暦年最年少の伊東理事・事務局でお開きしました。



新年会・花束贈呈



新年会

令和6年度岩手大学電気電子情報科会総会

令和6年度岩手大学電気電子情報科会総会は、令和6年15日(土)、エスポワールいわてで開催されました。

平成3年情報卒木村彰男理事(当時)の司会で始まり、知能・メディア情報コース長山中克久教授にご祝辞を頂戴しました。

議長に昭和41年電気卒武田寿郎理事、書記に平成20年電電修了阿部貴美氏と平成21年電電修了高橋克幸理事が選任されて議事に入りました。

武田議長の進行により第1号議案から第4号議案まで事務局から説明がなされ、すべて異議なく承認されました。

第5号議案役員選出については、選考委員長の昭和38年電気卒柏葉安兵衛相談役から経緯の説明がありました。コロナ禍による混乱期を含め6年間会長を担っていただいた昭和42年電気卒久保田賢二会長(当時)から、副会長・

事務局として会を支えている昭和45年電子卒柳橋好子氏にバトンが渡りました。副会長には、平成3年情報卒木村彰男氏と平成2年電気卒村田崇氏が選任され、これまで副会長を務めていた昭和62年電気卒長田洋氏と平成元年電気卒伊東寿勝氏が理事に選任されました。久保田賢二氏は相談役に委嘱されました。



令和6年度 岩手大学電気電子情報科会 総会

令和6年6月15日(土) エスポワールいわて

[令和6年度岩手大学電気電子情報科会総会議事録]

日時：令和6年6月15日(土) 14:00-15:00

場所：エスポワールいわて

出席者：山中克久、柴田隆昭、柏葉安兵衛、佐藤 匡、武田寿郎、吉田英夫、久保田賢二、藤村雄治、宮手敏雄、田中行男、谷口 宏、柳橋好子、安保 進、升谷 堯、佐川徳光、田中利光、吉澤和宏、齊藤久昭、恒川佳隆、立花龍一、狩野利之、長田 洋、佐々木眞嗣、伊東寿勝、渡邊健一、大羽澤仁志、村田 崇、川又 淳、木村彰男、千葉幸二、阿部貴美、高橋克幸、横山航平
以上 33名

議題：

1. 開会の辞

事務局の木村彰男理事より開会の辞が述べられた。

2. 会長あいさつ

久保田賢二会長より出席者へのあいさつが述べられた。

3. 来賓祝辞

知能・メディア情報コース長の山中克久教授より祝辞が述べられた。

4. 議長及び書記選出

事務局より議長に武田寿郎理事が、書記に阿部貴美氏と高橋克幸理事が選出された。

5. 議案

第1号議案 令和5年度事業報告

第2号議案 令和5年度決算報告並びに会計監査報告

配布資料に基づき、柳橋好子副会長より令和5年度事業報告がおよび令和5年度決算報告が、佐々木眞嗣会計監査より会計監査報告が行われた。審議の結果、承認された。

第3号議案 令和6年度事業計画(案)

第4号議案 令和6年度予算(案)

配布資料に基づき、柳橋好子副会長より令和6年度事業計画(案)および令和6年度予算(案)の説明が行われた。審議の結果、資料の内容のとおり承認された。

第5号議案 役員選出(案)について

配布資料に基づき、役員選考委員会の柏葉安兵衛選考委員長より令和6年度、7年度役員選出(案)について説明がされた。審

議の結果、資料の内容のとおり承認された。

6. その他

- 柴田隆昭氏より総会開催日時の検討をしてほしい旨の意見があった。
- 立花龍一副会長より年会費の徴収（10年一区切り）が375万円と過去最大となった報告があった。しかし、2年目の会費徴収額が低下する傾向があるため、年会費徴収に

協力いただけるよう依頼があった。

- 木村彰男理事より新任の役員が紹介され、久保田賢二現会長をはじめ各新任役員より挨拶が述べられた。

7. 閉会の辞

事務局の木村彰男理事より閉会の辞が述べられた。

令和6年度岩手大学電気電子情報科会臨時総会

令和7年度に岩手大学では改組が予定されています。これにより、電気電子情報科会の会員となるコースの名称が変更されることから、会則改定のための臨時総会が令和6年11月23日（土）、エスポワールいわてで開催されました。

臨時総会は、平成3年情報卒木村彰男副会長の司会で始まりました。

議長に昭和47年電気卒澤藤隆一東京支部相談役、書記に平成元年電子卒伊東寿枝理事、平成2年電気卒大羽澤仁志理事が選任されて議事

に入りました。

澤藤理事の進行により、会則変更の背景を高橋理事より、会則変更案を事務局より説明がなされ、異議なく承認されました。

同時に、大学の改組はこの先も行われることが見込まれるため、会則に記載されている「電気電子情報系コース」の定義の見直しを適宜、効率よく実施するための仕組みの必要性が課題として挙げられ、今後検討していくことになりました。

[令和6年度岩手大学電気電子情報科会臨時総会議事録]

日 時：令和6年11月23日（土）12:25-12:50

場 所：エスポワールいわて

出席者：柳橋好子、柏葉安兵衛、佐藤 匡、武田寿郎、吉田英夫、宮手敏雄、田中利光、立花龍一、狩野利之、伊東寿枝、大羽澤仁志、木村彰男、澤藤隆一、高橋克幸、伊東寿勝（15名）

議 題：

1. 開会の辞

司会の木村彰男理事より開会の辞が述べられた。

2. 会長あいさつ

柳橋好子会長より出席者へのあいさつが述べられた。

3. 議長及び書記選出

事務局案により議長に澤藤隆一東京支部相談役（S47 電気）が、書記に伊東寿枝理事（H01 電子）と大羽澤仁志理事（H02 電気）が選出された。

4. 議案

第1号議案 会則改訂

配付資料に基づき、事務局・高橋理事および伊東理事より会則改定の背景について説明がなされた。

①令和7年度の改組に伴う理工学部の組織構成・名称の変更に対応する会則の組織名称改訂が審議され、承認された。

②金融機関（ゆうちょ銀行）から会則への住所記載が求められその対応に会則第3条の変更が承認された。

5. その他

改組への対応のための会則変更手続き効率化への提言があった。今回の会則では、その布石として、科会構成員の配属学科を別紙にしているが、この別紙の改定に関しては継続審議することにした。

会則変更案の中で“電気情報系”と“電気電子情報系”という記載が混在することに対し、統一することが望ましいという意見があり、対応することにした。

6. 閉会の辞

柳橋好子会長より閉会の辞が述べられた。

令和6～7年度岩手大学電気電子情報科会役員名簿

(令和7年1月1日現在)

役職名	氏名	卒業年学科	役職名	氏名	卒業年学科
会長	柳橋好子	S45 電子	東京支部		
副会長	立花龍一	S61 情報	幹事	吉澤和宏	S54 情報
副会長	村田崇	H02 電気	幹事	山道隆男	S62 電気
副会長・事務局	木村彰男	H03 情報	幹事	富塚秀樹	H02 電気
理事	佐藤匡	S40 電気	幹事	佐伯勇輝	H04 電気
理事	吉田英夫	S41 電気	幹事	渡邊義朝	H04 電気
理事	武田寿郎	S41 電気	幹事	阿部敦	H04 電子
理事	千葉則茂	S50 電気	幹事	内藤千寿	H06 電子
理事	恒川佳隆	S55 電気	幹事	高橋圭介	H07 電気
理事	鳥谷部達雄	S56 情報	幹事	関優子	H12 情報
理事	長田洋	S62 電気	幹事	三浦友規	H16 電電修
理事	伊東寿枝	H01 電子	盛岡支部		
理事	大羽澤仁志	H02 電気	幹事	岡英夫	S48 電子修
理事・盛岡支部長	宮手敏雄	S44 電気	幹事	池内達	S50 電子
理事・仙台支部長	田中利光	S53 電気	幹事	佐藤信	S57 電子
理事・東京支部長	狩野利之	S61 電子	幹事	佐藤文昭	S59 電子
理事・事務局	伊東寿勝	H01 電気	幹事	泉澤栄	S60 電子
理事・事務局	高橋克幸	H21 電電修	幹事	高橋康浩	S62 電気
会計監査	佐々木真嗣	S62 電子	幹事	千葉幸二	H04 情報
会計監査	大坊真洋	H11 電情博	幹事	金澤博昌	H06 情報
顧問	佐々木経夫	特	仙台支部		
顧問	藤原民也	特	幹事	加藤雅和	S49 電子
相談役(元会長)	大田原功	S30 電気	幹事	田代良二	S55 電気
相談役(元会長)	柏葉安兵衛	S38 電気	幹事	菅野丘	S63 情報
相談役(元会長)	籾福寛	S38 電気	幹事	柏葉安宏	H09 電電
相談役(元会長)	久保田賢二	S42 電気			

令和6年度電気電子通信コース、 知能・メディア情報コース教職員名簿

令和7年1月1日現在

電気電子通信コース (コース長 西館数芽 教授)	
職名	氏名
教授	長田 洋
教授	小林 宏一郎
教授	大坊 真洋
教授	高木 浩一
教授	西館 数芽
教授	本間 尚樹
教授	向川 政治
准教授	秋山 雅裕
准教授	叶 榮彬
准教授	菊池 弘昭
准教授	高橋 克幸
准教授	三浦 健司
助教	阿部 貴美
助教	岩井 守生
助教	佐藤 宏明
助教	田野崎 真司
助教	村田 健太郎

知能・メディア情報コース (コース長 山中克久 教授)	
職名	氏名
教授	今野 晃市
教授	永田 仁史
教授	萩原 義裕
教授	藤本 忠博
教授	松山 克胤
教授	山中 克久
准教授	木村 彰男
准教授	談 宜育
准教授	張 建偉
准教授	中谷 直司
准教授	平山 貴司
准教授	藤岡 豊太
助教	佐藤 信哉
助教	堀田 克哉
助教	游 梦博
助教	盧 忻
事務補佐員	懸田 ひかる

理工学系技術部

職名	氏名
技術室長	千葉 寿
技術専門員	古舘 守通
技術専門員	萩原 由香里
技術専門職員	志田 寛
技術専門職員	藤原 歩
技術職員	庄司 愛子
技術職員	増山 静香
技術職員	平山 有沙
技術職員	藤野 圭祐
技術補佐員	紺野 亮

情報技術部

職名	氏名
技術室長	加治 卓磨

総会添付資料：理事会議事録

岩手大学電気電子情報科会 令和5年度第1回理事会・80周年記念事業第6回実行委員会議事録

日時：令和5年5月27日(土) 12:00～ 場所：エスポワールいわて 特別室
出席：久保田・立花・佐藤・吉田・武田・伊東・村田・大羽澤・狩野・田中・宮手・柏葉・佐々木・木村・柳橋 15人

次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
小野寺瑞穂さんが5月6日にご逝去されました。科会に多大なご尽力をいただき心より御礼とご冥福をお祈りいたします。本日は総会前の理事会ですですのでご審議よろしくお願ひいたします。
3. 報告
(1)東京支部(狩野支部長)
コロナが落ち着い1月から5月までに役員会を5回開催。役員の手間を省くためにメールやクラウドを使用するようにしている。偶数月にメルマガ配信をしている。きたかみにQRコードを載せて少しずつアクセスが増えてきている。支部大会を10月14日に開催予定。4月9日に80周年のライブ配信のために仙台に見と準備に行ってきた。
(2)仙台支部(田中支部長)
前回の理事会当日に支部役員会開催。新年会も参加者少なく、役員5人。4月9日東京支部3人と仙台支部3人で打ち合わせ。4月30日に支部役員会開催し式典等の具体的なご協議。5月14日本部3人、ガーデンパレスで具体的打ち合わせの後、会場との打ち合わせを行った。6月10日に最後の詰め予定。支部会員に出欠をとったが、令和26年以降の会員はゼロの状態。
(3)盛岡支部(宮手支部長)
1月にやっと支部主催の新年会を開催できた。酒無し個別の弁当だったが、話しが付きなくあつという間だった。今年の支部総会は来年度一緒に開催。事業所見学は今年度も中止。
(4)新正会員歓迎会
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(5)「きたかみ」69号 3月1日発行 5,400部
(6)HP検討委員会(宮手委員長)
6月10日に小野寺瑞穂さんのお別れ会があるが、HPに小野寺さんから寄稿された「草創期のNHKのドラマ作り」を10部ほど持って行く予定。SSL化について、東京支部とのサーバー統合なども検討、セキュリティ的にも安心など。今後検討していく。
(7)会費検討委員会(立花委員長)
令和4年度の会費納入は30件、会費納入は減少傾向にあるので改善策を考えたい。
(8)草刈賞委員会(柏葉委員長)
今年も推薦者なし、したがって受賞者なし。メダル作成も必要になるし、裏の刻印も決めなければならないが太田原先生の体調のいい時に、相談する予定。
4. 協議

- 1) 前回理事会の議事録の確認
別紙により説明 承認
- 2) 令和5年度総会について
日時：令和5年6月17日(土) 13:30より(13:00 仙台支部総会)
場所：仙台ガーデンパレス
A) 議案書の審議
議案書を事務局が説明 会計監査からも報告あり
予算について文字訂正、また年会費徴収のコンビニ決済導入についての説明あり。議案書については承認。
別に 一祐会からコンビニ決済用の会員データがもらえるなら支部でも使えるようにできないものか。現在はタックシールでしかもらえない。支部にも出してもらえないことを期待したい。
狩野東京支部長：祝賀会で流すアーカイブ用の写真などの説明写真を集めた。
B) 総会の役割分担
司会(木村) 議長(田中仙台支部長) 書記(大羽澤・伊東)
5. その他
理事会閉会後に本部執行部と仙台支部長・東京支部長の詳細打ち合わせ
6. 閉会
次回理事会(予定) 令和5年8月26日(土) 12時
場所 エスポワールいわて(予定)

岩手大学電気電子情報科会 令和5年度第2回理事会議事録

日時：令和5年8月26日(土) 12:00～ 場所：エスポワールいわて
出席：久保田・柏葉・長田・佐藤・吉田・武田・大羽澤・宮手・田中・狩野・木村・高橋・柳橋 13人

次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
最高気温34度という中をお集まりいただきありがとうございます。80周年記念式典は仙台支部のご尽力、また東京支部のリモート配信、により、無事に終えることが出来ました。ありがとうございます。
3. 報告
1) 各支部報告
(1)東京支部
毎月定例会を実施。メルマガを6月に80周年を中心に発信。80周年のライブ配信は成功で、それに伴い動画の保存をどうするか、編集して残すことを考えたい。80周年のため6か月延期して、10月14日に支部大会を予定している。講師に知能・メディア情報コースの永田先生をお願いしている。議案書をスマホで見える方法も考えている。コロナ前に実施していた大学訪問を再開したいので、先生方に相談したい。
(2)仙台支部
6月17日に支部総会も開催し、いつもより多数の人数が集まった。今年度は各事業もやれそう、新年会や長寿を祝う会を予定している。
(3)盛岡支部
今年度は本部総会が仙台だったので、本部総会と同時に開催していた盛岡支部総会は次年度に2年分をやる。コロナが完全に収まっていないので、今年度も事業所見学を中止する。
2) その他
木村理事より 80周年の時に、草刈賞に寄付希望者があり、大学側と連絡し、寄付をしてもらった。草刈賞が理工学部から寄付として大学が管理することになっている。
4. 協議
1) 議事録の確認
(1)令和5年度第1回理事会議事録の確認 承認
(2)令和5年度総会議事録の確認 文字訂正の上 承認
2) 令和5年度事業計画について
(1)会誌「きたかみ」第70号について 80周年特集号
①創立80周年記念式典について
カーページ4頁 受賞者4人の紹介 受賞者の言葉 講演原稿
仙台支部より 東京支部より

- ②退職の先生：西山先生
支部担当(4頁) 今回は特集号なので支部寄稿はなし
編集委員：(会長・事務局3人・各委員長(HP・草刈賞・会費)) 事務局説明の上、承認
- (2)ホームページ運営委員会について
80周年草刈功労賞受賞者4人の紹介文と写真を載せた。SSL化は今のところ実害もないのでもう少し継続的に検討してからとする。
- (3)正会員歓迎会の開催について
卒業判定は3月1日(金)の予定
歓迎会は3月4日5日6日あたりを予定。場所 理工学部生協食堂
コロナも少し落ち着いてきたので、今年度は開催したい。
- (4)草刈賞委員会の活動について
科会からの選考委員：(会長・柏葉相談役)
- (5)会費検討委員会の活動について
年会費徴収方法について 委員長欠席のため、次回に
- (6)創立80周年記念事業実行委員会の活動について

1. 日程、場所(式典・講演・祝賀会)
令和5年6月17日(土) 13:00～19:00 仙台市 仙台ガーデンパレス
参加：57人 ライブ14人
2. 事業
①記念式典 ②記念講演(仙台支部 斎藤健氏)
③記念祝賀会 ④「きたかみ」70号(令和6年3月発行)を特集号とする
3. 80周年収支報告
別紙により事務局が報告
・きたかみ特集号分の予算として5万円とってあるが、この物価高騰で不足が予想される。
・式典の会場費について、80周年の東京開催では会場費は本部と支部で折半だった。今回は折半は難しいと考え本部で持つべきとも考えている。だが見積もりより少なかったため、仙台支部にも支払ってもらった。今後は、会場費配分のルール作りが必要。
4. この理事会をもって80周年実行委員会を解散することとする。
5. その他
(1)新年会開催について
盛岡支部長：方向としては開催したい。
(2)今まで記念式典等のデータをそれぞれが持っていたが、科会として動画等を残しておくべきではないか。次に携わる人のためにも残しておくべきだ。
6. 閉会

次回理事会(予定) 令和6年1月27日(土) 13時
場所 エスポワールいわて(予定)

岩手大学電気電子情報科会 令和5年度第3回理事会議事録

日時：令和6年1月27日(土) 13:30～ 場所：エスポワールいわて
出席：久保田・柏葉・立花・佐藤・吉田・宮手・狩野・田中・伊東・村田・大羽澤・木村・高橋・柳橋 14人

次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
遅ればせながら明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年も昨年と増して暖かい冬です。今日はこの後に盛岡支部主催の新年会が控えております。よろしくお願ひいたします。
3. 報告
1) 各支部からの報告
・東京支部
10月14日東京支部大会開催、35人、リモートで9人 参加
久保田会長、一祐会から長田先生、他の科会からも出席していただいた。講演は永田先生に岩手大学理工学部の現況などを話していただいた。
12月15日2人が大学訪問。長田先生、木村先生、高木先生、大坊先生の研究室を訪ねて学生と話した。
1月16日4回目の質問交歓会開催。久保田会長、柏葉先生、長田先生にも参加していただき25人。毎月の役員会には10人中7から8人出席。来年度の支部大会は6月の予定。
・仙台支部
1月20日役員会と新年会を開催。4月予定の長寿を祝う会を6月の支部総会に合わせてやる。支部総会を6月8日に開催予定。11月に一祐会仙台支部総会があり、田中支部長が役員に選任された。
・盛岡支部
コロナが5類になったとしてもおさまっていないので、事業所訪問は先方に迷惑をかけるので今年も中止にした。本日、この後に支部主催の新年会だが、3年ぶりに従来通りの形の大皿での会食会が開催出来る。
その他の報告 なし
- 2) その他
4. 協議
1) 議事録の確認
前回理事会議事録の確認 文章変更の上承認
- 2) 令和5年度事業計画について
(1)会誌「きたかみ」第70号について 3月1日発行予定 5,400部
柳橋事務局より編集進捗状況説明
80周年の記事だけでなく、4人の追悼記事などページ数が大幅に増えたので、予算が相当増となる見込みと事務局より説明があり、承認した。
ページ数増により重量は大丈夫か。一祐会事務局に問い合わせること。
(2)ホームページ運営委員会について
今までのアクセス数 1 2 7 5 7 1日5回くらい
(3)正会員歓迎会の開催について
木村理事より 卒業判定は 3月1日(金)か5日(火)
大学側の自粛ムードがなくなったので、歓迎会を復活する。
3月7日(木) 6時より 理工学部生協食堂。生協と広くとれるか交渉してみる。
(4)草刈賞委員会の活動について
柏葉委員長より 草刈賞選考委員：大学側 コース長2人、木村、高橋
科会 久保田会長、柏葉相談役
コロナにより2年間候補者がいなかったが、今年は候補者1人いる。
(5)会費検討委員会の活動について
立花委員長
前回理事会でスマホ決済などを考えたいと言ったが、一祐会と相談の結果、一祐会のデータが使えないため断念した。3月に第3期納入願ひをだす。平成26年3月卒まで対象3,542人。第2期は今まで996人、第1期より200万円減。
- 3) 役員改選について
選考委員会方式とする。
選考委員：柏葉相談役(委員長)、太田原相談役、吉田理事、武田理事、木村理事、大羽澤理事
5. その他
・令和6年度総会予定 令和6年6月15日(土) エスポワールいわて
13時 受付
13時30分～14時 盛岡支部総会
14時～15時 総会
15時～16時 総会特別講演
16時～16時30分 記念写真撮影
16時30分～18時30分 懇親会 講演会講師：佐々木真嗣氏(S62年電子卒・ICS)
・東京支部より 住所把握状況の説明、メールアドレスの活用など
6. 閉会
次回理事会 令和6年6月1日(土) 12時
場所 エスポワールいわて

令和6年 年表

1/16	東京支部 賀詞交換会
1/20	仙台支部 第1回役員会、新年会
1/22	令和5年度第3回理事会前打合せ 於：岩手大学理工学部 / 久保田会長、柏葉相談役、柳橋副会長、立花副会長、長田副会長、木村理事
1/23-24	令和6年度大学院総合科学研究科理工学専攻第2期入学者選抜試験《令和6年4月入学》
1/25	令和6年度大学院理工学研究科博士課程第2期入学者選抜試験《令和6年4月入学》
1/27	令和5年度第3回理事会 盛岡支部 新年会 於：エスポワールいわて
2/5	草刈賞選考委員会 於：岩手大学理工学部 選考委員 電気電子通信コース：高木浩一（コース長）、高橋克幸 知能・メディア情報コース：永田仁史（コース長）、木村彰男 電気電子情報科会：久保田賢二（会長）、柏葉安兵衛（相談役・選考委員長）
2/13	「きたかみ」第70号校了
2/16	知能・メディア情報コース 卒業研究発表会
2/19	大学院総合科学研究科理工学専攻知能情報コース 修士論文審査発表会
2/20	大学院理工学研究科（博士課程）システム創成工学専攻電気電子通信工学分野博士論文公聴会
2/25	令和6年度理工学部 一般選抜個別学力検査 前期日程
2/29	電気電子通信コース卒業研究発表会
3/1	「きたかみ」第70号発行 5,400部
3/7	新正会員歓迎会 参加者 42名（新会員 14名、院生 12名、教員 3名、会員 12名）
3/12	令和6年度理工学部 一般選抜個別学力検査 後期日程
3/23	岩手大学学位記授与式 理工学部システム創成工学科卒業生：電気電子通信コース 56名、知能・メディア情報コース 65名 大学院総合科学研究科理工学専攻修士課程修了生：電気電子通信コース 26名、知能情報コース 12名 大学院理工学研究科システム創成工学専攻博士課程修了生：電気電子通信工学分野 1名
4/7	岩手大学入学式 理工学部システム創成工学科入学生：電気電子通信コース 69名（うち地域創生特別プログラムものづくり系1名）、同知能・メディア情報コース 67名（うち地域創生特別プログラムものづくり系1名） 3年次編入学生：電気電子通信コース 2名、知能・メディア情報コース 1名 大学院総合科学研究科理工学専攻修士課程入学生：電気電子通信コース 35名、知能情報コース 19名 大学院理工学研究科システム創成工学専攻博士課程入学生：電気電子通信工学分野なし、知能情報工学分野なし
4/9	令和6-7年度第1回役員選考委員会 於：理工学部4号館 選考委員：柏葉相談役（委員長）、吉田理事、木村理事、大羽澤理事
4/20	仙台支部 第2回役員会
5/18	盛岡・つなぎ間ロードレース大会（岩手大学学生、教職員参加）
5/20-24	理工学部前期授業一般公開
5/22	令和6-7年度第2回役員選考委員会 於：理工学部4号館 選考委員：柏葉相談役（委員長）、吉田理事、武田理事、木村理事、大羽澤理事
5/26	令和6年度第1回理事会前打合せ 於：岩手大学理工学部 / 久保田会長、柏葉相談役、柳橋副会長、立花副会長、長田副会長、木村理事
5/28	会計監査 於：岩手大学理工学部 / 久保田会長、柳橋副会長、佐々木会計監査、大坊会計監査
6/1	令和6年度第1回理事会 於：エスポワールいわて / 会長、副会長、相談役、理事（計17名） 令和6年度総会議案について

6/8	仙台支部総会、講演会、交流の集い
6/15	盛岡支部総会 令和6年度総会 於：エスポワールいわて（計33名） 令和5年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和6年度事業計画、予算 役員改選
6/22	東京支部 支部大会
7/3	令和7年度大学院総合科学研究科理工学専攻（修士課程）推薦入学者選抜試験《令和7年4月入学》
7/13	仙台支部 第1回役員会
7/28	岩手大学同窓会トークカフェ in 東京 に東京支部より参加
7/30-31	岩手大学理工学部アカデミックインターンシップ2024
8/6	岩手大学オープンキャンパス
8/22-23	令和6年度大学院総合科学研究科理工学専攻（修士課程）入学者選抜試験《令和6年10月入学》 令和7年度大学院総合科学研究科理工学専攻（修士課程）入学者選抜試験《令和7年4月入学》 令和6年度大学院理工学研究科博士後期課程入学者選抜試験《令和6年10月入学》 令和7年度大学院理工学研究科博士後期課程入学者選抜試験《令和7年4月入学》
8/23	令和6年度第2回理事会前打合せ 於：岩手大学理工学部 / 柳橋会長、柏葉相談役、立花副会長、村田副会長、高橋理事、伊東理事
8/31	令和6年度第2回理事会 於：エスポワールいわて / 会長、副会長、相談役、理事（計17名） 令和6年度事業計画について、令和7年度岩手大学理工学部改組への対応について
9/上	令和7年度理工学部総合型選抜I入学試験（第1次書類選考）
9/25	令和6年度岩手大学修了式・卒業式（農業教育資料館） 理工学部卒業生：電気電子通信コース1名 大学院総合科学研究科理工学専攻修士課程修了生：知能情報コース2名
9/26	電気電子通信コース ソフトボール大会
10/1	岩手大学入学式（令和6年度10月入学者） 大学院総合科学研究科理工学専攻修士課程入学生：電気電子通信コース1名、知能情報コースなし 大学院理工学研究科システム工学専攻博士課程入学生：電気電子通信工学分野なし、知能情報工学分野1名
10/4	令和7年度理工学部総合型選抜I入学試験（第2次選考）
10/4	令和7年度理工学部総合型選抜II（クリエイティブ情報コースのみ）入学試験
10/19-20	第74回岩手大学不來方祭
11/4	盛岡支部 企業見学会 株式会社ミクニ 盛岡事業所
11/9	知能・メディア情報コース スポーツ大会
11/11-15	理工学部後期授業一般公開
11/12	大学院総合科学研究科理工学専攻（修士課程）知能情報コース1年次中間発表会（ポスター発表形式）
11/12	仙台支部 施設見学会 / 4GeV 高輝度放射光施設 Nano Terasu
11/13	令和6年度臨時総会前打合せ、「きたかみ」第71号 第1回編集委員会 岩手大学理工学部 / 柳橋会長、柏葉相談役、立花副会長、木村副会長、宮手理事・盛岡支部長、高橋理事、伊東理事
11/19,26,29	大学院総合科学研究科理工学専攻（修士課程）知能情報コース修士論文予備審査会《令和7年3月修了予定者》（分野別に実施）
11/20	令和7年度岩手大学理工学部学校推薦型選抜入学試験
11/23	令和6年度臨時総会 於：エスポワールいわて / 参加者15名 令和7年度岩手大学理工学部改組に伴う会則変更について
12/14	令和6年度第2回情報処理学会東北支部研究会（於 岩手大学）
12/26	「きたかみ」第71号 第2回編集委員会 於：岩手大学理工学部 / 柳橋会長、柏葉相談役、立花副会長、村田副会長、木村副会長、宮手理事・盛岡支部長、伊東理事

岩手大学電気電子情報科会会則

- 第1章 総 則**
- 第1条 本会は岩手大学電気電子情報科会と称する。
- 第2条 本会は盛岡高等工業学校電気科、盛岡工業専門学校電気科、岩手大学工学部電気電子情報系工学科並びに岩手大学理工学部電気電子情報系コース及びクラス、大学院工学研究科電気電子情報系工学専攻並びに岩手大学大学院電気電子情報系コースの傘下集った者の親睦を図り、緊密な連絡をとり、電気工学、電子工学、情報工学に関する知識を交換する。
岩手大学理工学部電気電子情報系コースおよび岩手大学大学院電気電子情報系コースは別紙に定める。
- 第3条 本会の本部事務所は盛岡市上田4丁目3-5 岩手大学理工学部電気電子情報系コースに置く。
本会に支部を置くことができる。支部の設置は総会の承認をうけるものとする。
- 第4条 本会は第2条に定めた目的を達成するために会誌の発行、講演会等を行う。
- 第2章 会 員**
- 第5条 会員を分けて特別会員、正会員、準会員とする。
- 第6条 特別会員は岩手大学工学部電気電子情報系工学科、岩手大学理工学部電気電子情報系コースの現・旧教職員とする。
- 第7条 正会員は盛岡高等工業学校卒業生、盛岡工業専門学校卒業生、岩手大学工学部電気電子情報系工学科卒業生、岩手大学理工学部電気電子情報系コース卒業生、岩手大学大学院工学研究科電気電子情報系工学専攻修了生、岩手大学大学院電気電子情報系コース修了生、並びに役員会の承認を経た者とする。
- 第8条 準会員は岩手大学工学部電気電子情報系工学科及び岩手大学理工学部電気電子情報系コース及びクラスの在校生、並びに岩手大学大学院工学研究科電気電子情報系工学専攻学生、岩手大学大学院電気電子情報系コース学生のうち正会員でない者とする。
- 第3章 会 計**
- 第9条 本会の会計は一般会計及び基金特別会計とする。基金は将来のために積み立てるものとする。但し、その利息は一般会計に繰り入れることができる。
- 第10条 会費は準会員入会時に入会費として10,000円を納入する。また、卒業後10年を経過した正会員は年会費として10年毎に10,000円を納入する。尚、納入した会費は理由の如何を問わず返却しない。
ただし、クラスに所属する準会員が、当会が定めた電気電子情報系コース以外に進級した場合は入会金を返納する。
- 第11条 本会の収支は毎年4月末日に於いて決算を行い、会計監査を経て総会に於いて承認をうけ併せてこれを報告する。
- 第4章 会 議**
- 第12条 会議は総会、臨時総会、役員会及び理事会とする。
- 第13条 理事会は、会長、副会長、理事及び相談役を以て構成する。
- 第14条 総会は毎年1回会長がこれ招集して出席人員を以て成立する。
- 第15条 臨時総会は役員会に於いて必要と認められた時、会長がこれを招集する。
- 第16条 役員会及び理事会は必要に応じて会長が招集する。

- 第5章 役 員**
- 第16条 本会に次の役員を置く。
- | | | |
|------|------|-----------------------------------|
| 会 長 | 1名 | 正会員より選出する。 |
| 副会長 | 3名以内 | 正会員より選出する。 |
| 理 事 | | 正会員より互選する。
尚、各支部長は理事を兼ねるものとする。 |
| 会計監査 | 2名 | 正会員より選出する。 |
| 幹 事 | | 正会員より理事会で推薦し会長が委嘱する。 |
| 顧 問 | 若干名 | 特別会員より会長がこれを委嘱する。 |
| 相談役 | | 元会長は終身相談役として委嘱するものとする。 |
- 第17条 各役員任期は2ケ年とし、再選できる。改選は総会に於いて行なう。
但し任期中欠員ができた場合は役員会に於いて選出し補充する。
- 第18条 会長は本会を代表しその事務を総括する。
副会長は会長を補佐する。
理事は本会の庶務を掌理する。
会計監査は会計を監査する。
事務局担当理事は本会の会計を掌理し、且つ金品物件の保管の責に任ずる。
幹事は会員相互の親睦と連絡の任に積極的にあたる。
- 第19条 支部に支部長を置き、本部に準じて役員をおくことができる。
- 第6章 会誌、講演会及び座談会**
- 第20条 本会は会誌「きたかみ」を発行して会員に配付する。
- 第21条 講演会及び座談会は随時行なう。
- 第22条 支部の内規は各支部に於いて定め、会長の認可を受けることにする。
- 第23条 会則の変更は総会に於いて過半数の賛成が無ければ変更する事ができない。
- 付 則**
- 本会則の第10条の改定は、平成16年5月1日から施行する。
- (昭和17年1月1日制定) (平成11年度総会一部改正)
(昭和25年度総会一部改正) (平成12年度総会一部改正)
(昭和37年度総会一部改正) (平成15年度総会一部改正)
(昭和40年度総会一部改正) (平成20年度総会一部改正)
(昭和41年度総会一部改正) (平成21年度総会一部改正)
(昭和46年度総会一部改正) (平成22年度総会一部改正)
(昭和50年度総会一部改正) (平成27年度総会一部改正)
(昭和51年度総会一部改正) (平成28年度総会一部改正)
(昭和56年度総会一部改正) (令和6年度臨時総会一部改訂)
(平成4年度総会一部改正)

岩手大学電気電子情報科会会則 別紙

本会則における岩手大学理工学部電気電子情報系コース及びクラスは次の通り定める。

岩手大学理工学部システム創成工学科
電気電子通信コース
知能・メディア情報コース

岩手大学理工学部理工学科
知能情報コース/知能情報クラス
クリエイティブ情報コース/クリエイティブ情報クラス
電気電子・情報通信コース/電気電子・情報通信クラス

本会則における岩手大学大学院電気電子情報系コースは次の通り定める。

岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻
電気電子通信コース
知能情報コース

「きたかみ」71号トピックス



令和6年は6年ぶりに会長が、昭和42年電気卒久保田賢二氏から昭和45年電子卒柳橋好子氏に交代しました。前会長はコロナ禍と80周年記念行事の開催が重なり大変なご苦労があったと存じます。長い間ありがとうございました。これからは相談役として、引き続き科会活動をご指導いただけますようお願いいたします。そして、新会長は当会初の女性会長でもあります。本号冒頭の会長ご挨拶でも書かれておりますが、多様性の時代、当会にも新しい風が吹くのではないかと思います。柳橋会長が岩手大学副学長海妻径子氏、オリンピックチェアスキー金メダリスト狩野亮氏と「ダイバーシティ&インクルージョン」をテーマに鼎談した模様は、岩手大学のHPに掲載されていますので、是非ご覧下さい。



編集後記

きたかみ71号をお届けします。

当会のHPは、2018年の篤福会長（当時）時代に科会役員の皆様のご尽力により開設されましたが、この1月、暗号化対応しました。サーバーをご提供いただいているフクラネットさんに感謝いたします。

本号表紙に掲載しているQRコード（科会HPへのリンク）は新しいURLに対応しています。旧URLをブックマークしておられる方は、新URLに移行をお願いします。

新URL <https://fukura.ne.jp/ddj-kakai/>

以前より、科会東京支部ではGoogleフォームを利用したイベントの参加申し込みや会員の皆様からのフィードバックをいただく様にしておりましたが、令和7年度は科会総会でも採用することにしました。

また、別な試みとして、メール送信用のQRコードも作成し、科会総会案内および仙台支部総会案内の欄に掲載しております。こちらはQRコードリーダーによってはデコードできないケースもあるかもしれませんが、新たな試みということでご容赦ください。

科会メールアドレスはGoogleのグループメールに変更しました。

連結が"."から"_"に変わりましたが、"iwate"、"ddj"、"kakai"の表記はそのまま踏襲しています。新アドレスも総会案内の頁に記載しております。

1月末、昭和34年電気卒齋藤弘岩手大学名誉教授がご逝去されたとの報を受け取りました。退官後もご趣味の山行は続けておられた様で、姫神山でばったりお会いしたこともあると聞いております。お元気だった頃のお姿が目には浮かびます。心よりご冥福をお祈りします。

編集委員

柳橋好子	(会長)	昭和45年電子卒
柏葉安兵衛	(相談役)	昭和38年電気卒
宮手敏雄	(盛岡支部長)	昭和44年電気卒
立花龍一	(副会長)	昭和61年情報卒
村田崇	(副会長)	平成2年電気卒
木村彰男	(副会長・事務局)	平成3年情報卒
高橋克幸	(事務局)	平成21年電電修了
伊東寿勝	(事務局)	平成元年電気卒

きたかみ 第71号

発行日	令和7年3月1日
発行者	盛岡市上田4丁目3番5号 岩手大学理工学部内 岩手大学電気電子情報科会
	☎ 019-621-6460
印刷所	(株)阿部謄写堂 盛岡市本町通2丁目8番37号
	☎ 019-623-2361

令和7年度岩手大学電気電子情報科会総会並びに 懇親会開催のご案内

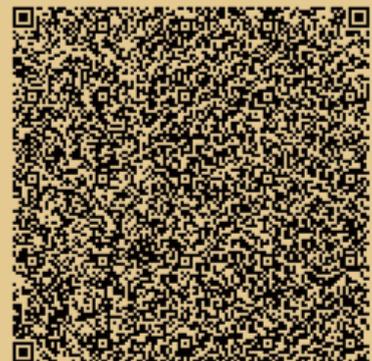
令和7年度岩手大学電気電子情報科会総会を下記の通り開催いたします。お忙しいとは存じますが、多数のご出席をお待ちしております。

ご出席いただける方は、電子メール、電話、はがきにて、5月15日までに科会事務局へお知らせください。

日 時：令和7年6月21日（土）
受付 13：00
盛岡支部総会 13：30～14：00
総会 14：00～15：00
講演会 15：00～16：00
写真撮影 16：00～16：30
懇親会 16：30～18：30



総会参加フォーム



総会参加連絡メールQR

場 所：エスポワールいわて
盛岡市中央通り1丁目1-38 電話 019-623-6251

議 案：1. 令和6年度事業報告、決算・監査報告
2. 令和7年度事業計画案、予算案の審議
3. その他

講 演 会：演題「元社員が語るマイクロソフトの中のハナシ & 安心してPCを使うコツ」
講師：小笠原清人氏（エースインタイム合同会社代表 昭和63年電気卒）

懇親会会費：6,000円（予定）《懇親会席上で昨年秋・今年春に叙勲された方をご紹介します、敬意を表します。叙勲された方をご存じの方はお知らせください。》

連 絡 先：総会の出欠を含め、各種ご連絡は電子メール、電話、はがきでお願いします。本頁に掲載しているQRコードからGoogleフォーム経由、もしくは電子メールでご連絡いただくこともできます。

岩手大学電気電子情報科会
岩手大学電気電子情報科会事務局
電気電子通信コース担当
知能・メディア情報コース担当
庶務会計・学外担当

E-mail: iwate_ddj_kakai@googlegroups.com
(岩手大学理工学部内)
高橋 克幸 019-621-6460
木村 彰男 019-621-6488
伊東 寿勝 090-6742-8261

東京支部大会

日 時：2025年（令和7年）5月17日（土）
場 所：AP東京八重洲11階
（支部大会、一祐会総会、講演会）
同 7階（懇親会、交流会）
次 第：13：00-13：30 東京支部大会
（他科会の東京支部総会も同時刻に実施）
14：00-14：50 一祐会総会
15：00-15：50 講演会
16：00-17：50 懇親会・交流会

東京支部の皆様には別途ご案内いたします。
令和7年度東京支部大会は、一祐会総会との共催になります。

連絡先：iwatet@googlegroups.com
担 当：事務局長 加瀬貞二



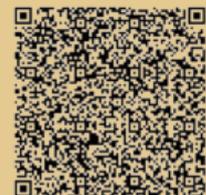
参加フォーム

仙台支部総会

日 時：2025年（令和7年）6月28日（土）
場 所：ハーネル仙台
次 第：15：00-15：30 総会
15：30-16：30 講演会
17：00-19：00 交流の集い
講演会
演題「(未定)」
講師：電気電子通信コース 高橋克幸准教授

仙台支部の皆様には別途ご案内いたします。

連絡先：iwueecsb@gmail.com



連絡メール用QR

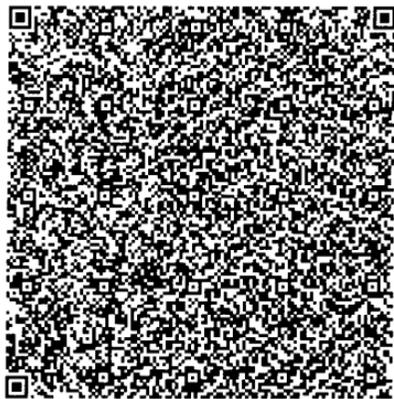
－ お詫びと訂正 －

第3表紙（本文最終頁後の白茶色頁）科会総会案内の中で、岩手大学電気電子情報科会の連絡先メールアドレスと総会参加連絡メール用QRコードに誤りがありました。お詫びして下記のとおり訂正いたします。

(誤) E-mail: iwate_ddj_kakai@googlegroup.com



(正) E-mail: iwate_ddj_kakai@googlegroups.com



正しい総会参加連絡メール QR